平成23年度 第2回足立区地域保健福祉推進協議会 「子ども支援専門部会」次第

平成23年11月21日(月) 午後2時~4時 足立区役所中央館8階特別会議室

- 1 子ども支援専門部会長挨拶
- 2 議事

<報告事項>

- 1 児童急増地域の学童保育室の増設について【東和地域】(住区推進課)
- 2 学童保育室版A-メールの導入について(住区推進課)
- 3 要支援家庭早期発見のための妊娠届出書様式改訂について (保健予防課)
- 4 子宮頸がん等ワクチン接種費用助成事業における助成対象ワクチンの追加について (保健予防課)
- 5 平成24年度版子育てガイドブックの作成について(子ども家庭課)
- 6 待機児童解消に向けた保育施設等の整備について(副参事 待機児童対策)
- 7 児童遊園を活用した保育施設の整備について(副参事 待機児童対策)

「子ども支援専門部会」 平成23年11月21日

| 件名 | 児童急増地域の学童保育室の増設について【東和地域】 | | | | | | | |
|-------------------------------|--|--------------------------|--|---------------------|----------------|-----|--|--|
| 所 管 部 課 | 区民部住区推進 | 区民部住区推進課 | | | | | | |
| | 児童数が急増 | | | | | | | |
| | 渕江小学校に隣接する公園の一部を活用し、学童保育室を移転・増設す | | | | | | | |
| | はり待機児を解消するよう調整を進める。 | | | | | | | |
| | 017170000071 | より付機児を胜利するより調金を進める。 記 | | | | | | |
| | 1 移転・増設 ⁻ | する学童保育室 | | | | | | |
| | | ター分室学童保育 | 至 (現:原 | 東渕江小学校内・ | 定員30名) | | | |
| | | 園名・所在地 | , () , | 主(先:宋枫在小子仪r) 足負30石/ | | | | |
| | | 面積 1274 ㎡、う | ち使用部分 | は約 430 ㎡) | | | | |
| | | 3丁目20-16 | | | | | | |
| | 3 施設概要 | - , , , = | () V V V V V V V V V | 1 20/20 | | | | |
| | | 学校内学童保育室 | ミを廃止し 隊 | | 云する。その際に | に現行 | | |
| | | 名1室を定員60 | | | | - ' | | |
| | | (東渕江・北三名 | | | | 0 | | |
| | 区分 | 対象学齢児数 (1年~3年) | 申請者数 | 入室数/定員 数(4室) | 必要数 | | | |
| | 22 年度 | 671 人 | 176 人 | 150 人/140 人 | 26~30 人 | | | |
| 内容 | 23 年度 | 695 人 | 185 人 | 149 人/140 人 | 36~52 人 | | | |
| | 24 年度 | 705 人 | 187 人 | 190人(5室) | | | | |
| | 27 年度 | 746 人 | 198 人 | 190人(同上) | | | | |
| | 29 年度 | 776 人 | 206 人 | 190人(同上) | | - | | |
| ※24年度以降は教育委員会の基礎数字を基に推計した。東和3 | | | | | 東和3丁目12 | (日立 | | |
| | 所有地空地 | 也) の予測は除く。 | | | | | | |
| | 5 学童保育室の | 運営主体 | | | | | | |
| | 現在、学園 | 童保育室(東渕江/ | 小学校内東和 | 中分室)を運営して | ている東和住区 | センタ | | |
| | 一管理運営 | 委員会が、引き続 | き運営する。 | 5 | | | | |
| 6 建設関係の予定 (案) | | | | | | | | |
| | (1) 経費 約3,500万円 | | | | | | | |
| | (2)財源 東京都子供家庭支援区市町村包括補助事業及び足立区緊急待機児童対策 | | | | | | | |
| | 基金の活用 | | | | | | | |
| | (3)周辺住民への説明 23年11月以降 | | | | | | | |
| | 7 公園の使用期間 | | | | | | | |
| | 概ね10年 | こから15年程度 | | | | | | |

「子ども支援専門部会」

23年11月21日

| 話等への学童メール配信システムを以下のとおり導入したので報告する。 記 1 配信メール内容 (1)災害時や不審者等の子どもの安全情報 (2)学童保室に関する緊急情報 (3)その他住区推進課長の認める緊急連絡 2 登録対象者 | 件名 | 学童保育室版A-メールの導入について |
|---|---------|--|
| 話等への学童メール配信システムを以下のとおり導入したので報告する。 記 1 配信メール内容 (1) 災害時や不審者等の子どもの安全情報 (2) 学童保室に関する緊急情報 (3) その他住区推進課長の認める緊急連絡 2 登録対象者 学童保育室入室児童の保護者等および児童館特例事業登録児童の保護者等任意による登録とする。 また、各住区運営委員会委員、従事者の登録も可能としている。 3 登録期間 平成23年9月1日(木)~平成24年3月31日(土) | 所 管 部 課 | 区民部住区推進課 |
| | 内 | 災害時等学童保育室から保護者への迅速な情報連絡体制を整えるため、携帯電話等への学童メール配信システムを以下のとおり導入したので報告する。記 1 配信メール内容 (1)災害時や不審者等の子どもの安全情報 (2)学童保室に関する緊急情報 (3)その他住区推進課長の認める緊急連絡 2 登録対象者 学童保育室入室児童の保護者等および児童館特例事業登録児童の保護者等任意による登録とする。また、各住区運営委員会委員、従事者の登録も可能としている。 3 登録期間 平成23年9月1日(木)~平成24年3月31日(土) |

「子ども支援専門部会」

| 衛生部足立保健所保健予防課 妊娠届出書は母親の年齢や出産予定日などの情報を収集し、主に高齢出産、若年出産の |
|--|
| |
| 家庭に対し、出産前後に必要なフォローを行うために活用している。 しかし、地域で孤立化しやすい区外からの転入者や外国人、母子家庭、あるいは心配や 不安が大きい方には、妊娠中からの早期支援が必要な場合がある。 そのため、妊娠届出書の様式を一部変えて、孤立に陥るリスクがわかる項目を追加する と同時に、不安や心配事に関する記載欄を設け、支援が必要と認められる場合、妊娠中から訪問等の支援を開始する。 |
| 記 |
| 1 使用開始日 11月1日(火) |
| 2 変更内容 従来の妊娠届出書の内容に、区内居住年数や生活状況、不安や心配事を記載する欄 等を追加 ※別紙のとおり。 |
| 3 提出場所 母子健康手帳交付窓口(保健予防課、各保健総合センター、各区民事務所) |
| 4 問題点・今後の方針 現在の妊娠届出書は、日本語表記の書式のみである。今後は、外国人の方も記入しすいように、外国語による記載ガイドを作成していく。 |
| |

妊 娠 届 出 書

(提出用)

| ※印欄は該当 | するものを○で囲んでください。 | | | | | | N O | | | | |
|-----------|---------------------|------------------------|-----------|----|------------|-----|-----|-----|----------|--------|-----------|
| 妊婦氏名 | | | 牛 | 年 | 月 | | 日生 | 職 | | | |
| | | | 齢 | (| | 歳) | | 業 | | | |
| 居住地 | 足立区 | 丁 | `目 | | 番 | : | | 号 | | 区内居住年 | 三数 |
| | 日中連絡がとれ | れる電話 | (| |) | | | | | 年 | 月 |
| 妊娠週数 | 満週 | 出産 | 年 | | 月 | 日 | * | V | まま | での出産 | |
| 74/14/23/ | (か月) | 予定日 | ' | | , , | | 73 | :し・ | あり | (上に | 人) |
| | ※ | 受診して | 71.1721.1 | | 性病 | に関っ | する | | 結核 | 亥に関する | |
| | 文彰した | ・文形しい | | | 健康 | 診断(| 血液核 | 食査) | | 健康記 | 参断 |
| 医師または | 施設名 | | | | * | | | | * | | |
| 助産師の | | | | | 受 | 診した | Ė | | Š | 受診した | |
| 診断 | 所在地 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 受 | 診して | ていな | V | Š | 受診していた | よい |
| | 氏名 | | | | | | | | | | |
| ふりがな | | | | | | | | | | | |
| 世帯主氏名 | | | | | | 同 | 居の家 | 家族(| (|)人 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 上記のとお | らり届け出ます。 | | | | | | | | | | |
| 足立区長 | あて | 年 月 | 日 | | | | | | | | |
| | | | | 氏名 | <u>Z</u> | | | | | | |

- ☆ 足立保健所 (管轄の保健総合センター) から妊娠・出産・育児に関することで上記に記載された電話番 号へご連絡させていただく場合があります。
- □心配なこと不安なことがありましたら、ご記入ください。
- ★ 今後の妊娠中の生活について(赤ちゃんのこと 自身の体調 医療に関すること 精神面など)

```
    ★ 家族 (夫・親・子ども) について
    ★ 生活費・養育費などや出産後の仕事などについて
    ★ その他
    □現在自宅でたばこを吸う人がいますか いいえ はい・・本人・夫・その他の家族(
```

(上記に係わる情報は、健康支援以外の目的では使用しません。)

ご協力ありがとうございました。相談に関しては、管轄の保健総合センターにご連絡ください。

23-6500

「子ども支援専門部会」

| 件 名 | 子宮頸がん等ワクチン接種費用助成事業における助成対象ワクチンの追加について | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|
| 所管部課 | 衛生部 足立保健所 保健予防課 | | | | |
| 所管 部 課 容 | 衛生部 足立保健所 保健予防課 国から「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象ワクチンの追加について」の通知を受けたことに伴い、下記のとおり対応を行っている。記 1 追加対象ワクチン 子宮頸がんワクチン「ガーダシル」(4価ワクチン)。ガーダシルは、サーバリックスに含まれる子宮頸がん予防抗原(HPV16型・18型)に加え、性病(尖圭コンジローマ)の予防抗原(HPV6型・11型)が含まれている。 2 助成対象開始 平成23年9月15日接種分から助成を開始している 3 助成金額 新ワクチンについても全額助成 (国の基準単価:15,939円/1回あたり) 4 周知 足立区ホームページ、医療機関窓口での周知を行った 5 ワクチンの供給量について 年度内ワクチン供給量900万本のうち、「ガーダシル」は300万本の見通しである。 6 問題点・今後の課題 国の助成制度については、平成24年度の接種費用助成対象年齢の範囲(平成23年度は中1~高1相当年齢)や年度内に3回の接種を完了できなかった人に対する助成の可否について国の方針が未定である。 | | | | |
| | | | | | |

「子ども支援専門部会」

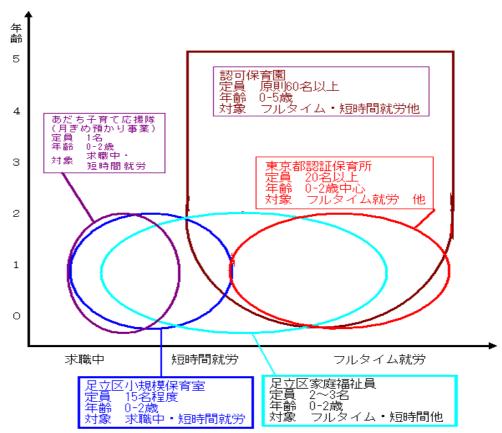
| 件 名 | 平成24年度版子育てガイドブックの作成について |
|---------|---|
| 所 管 部 課 | 子ども家庭部子ども家庭課 |
| | あだち子育てガイドブックは妊産婦、および転入者を対象に区の子育て支援情報や相談機関の案内など子育てに関する幅広い情報を集約して伝えることを目的に毎年発行する。平成24年版作成に関しては、下記のとおり作成するので報告する。記1 発行部数20,000冊 |
| | 2 配付対象 妊産婦、子育て中の転入者、希望する区民 |
| | 3 配付場所 区民事務所、保健総合センター、関係所管窓口 |
| 内 容 | 4 平成24年版変更点 ・図書館情報を追加する。 図書館での子供向けイベントや絵本の紹介について ・父親ハンドブックの内容を統合する。 ・マザーズハローワークなどの情報を追加する。 ・緊急ページに、子育て家庭の備蓄品を追加する。 ・子どもの事故防止のページのイラストを縮小しページを減らす。 ・児童館の乳幼児活動一覧の削除 グループの新規設立・廃止が多く、編集中に翌年度のグループ一覧が 確定しない。24年度版より案内にとどめ一覧は削除する。 ・地図の凡例や文字の書き方を変更し、見やすくする。 |
| | 5 意見募集 子ども支援専門部会、及び子育で中の区民からのご意見を募集します。 応募は平成23年12月2日までに子ども家庭課の下記アドレスに、メールまた はFAXにて受付。 ・メール件名:「平成24年度版 子育てガイドブック意見」 ・ E-Mail: kosodate@city.adachi.tokyo.jp ・FAX:03-3880-5641 |

「子ども支援専門部会」 平成23年11月21日

| 件名 | 待機児童解消に向けた保育施設等の整備について | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|
| 所管部課名 | 子ども家庭部 保育課・副参事 (待機児童対策) | | | | |
| 内容 | 存機児童解消に向けた保育施設等の整備について、「足立区待機児童アクションプラン」を定め、0-2 歳児に重点を置いて、下記のとおり保育施設等を整備していくこととする。 記 | | | | |

- 2 待機児童解消に向けた施設整備方針
- (1) 足立区の待機児童の3つの特徴
 - ①「0-2歳児集中傾向」 0-2歳児に9割が集中している。
 - ②「全地域遍在傾向」 全地域にわたって遍在している。
 - ③「求職中・短時間就労世帯集中傾向」 待機児童数のうち、求職中の世帯が約50%、短時間就労が25%を占める。

(2) 保育サービスごとの態様



(3) 足立区の待機児童の状況に適している保育サービスを提供

認証保育所・小規模保育室・家庭福祉員を中心に整備

0歳児から2歳児に重点を置き、足立区の待機児童の状況に適している認証保育 所、小規模保育室、家庭福祉員を中心に整備を進めていく。

認可保育園については、大規模開発地域など、特定地域に全年齢にわたり相当多数の待機児童が見込まれる場合に整備していく。

(4) 年度別の整備予定定員数

各年度の保育需要数の見込みに追いつくように整備していく。

| 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25・26年度 | 計 |
|--------|--------|-----------|------|
| 524人 | 156人 | 220人 | 900人 |



「子ども支援専門部会」

| 件 名 | 児童遊園を活用した保育施設の建設について |
|-----------|--------------------------------------|
| 所管部課 | 子ども家庭部保育課、副参事(待機児童対策) |
| | みどりと公園推進室公園管理課 |
| | 青井・中央本町地域の待機児童対策として、下記のとおり保育施設を建設する。 |
| | 記 |
| | 1 児童遊園名及び所在地 |
| | (1) 青井一丁目児童遊園 (面積680 m²) |
| | (2) 足立区青井一丁目7番5号 |
| | 2 開設予定年月日 |
| | 平成24年7月1日 |
| | 3 施設概要 |
| | (1) 認可基準を満たす公設保育施設 |
| | (2) 軽量鉄骨造1階建 |
| | 4 定員数等 |
| | (1) 28名程度 |
| | (2) 0歳児から2歳児まで |
| | 5 運営主体 |
| | 現在、検討中 |
| | 6 建設経費関係 |
| | (1) 財源 緊急待機児対策基金を活用予定 |
| | (2) 建設経費 86, 100 千円 |
| | 7 説明会 (1)近隣説明会の開催 |
| 内 容 | 近隣説明会 平成23年8月30日実施 |
| ri 4 | (2) 工事説明会の開催 |
| | 工事説明会 平成24年1月末日頃予定 |
| | 8 児童遊園整備 |
| | 遊具の撤去、樹木の伐採等について、子ども家庭部及びみどりと公園推進室で調 |
| | 整する。 |
| | 9 使用期間 |
| | 概ね10年から15年(児童遊園休園期間) |
| | 10 今後の方針 |
| | 開設に向け各種手続きを進めていく。 |
| | |
| | |